

(財) 自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック (2012年9月)

オスナブリュック市は、生の情報利用のアプリケーションを開発

オスナブリュック市（ニーダーザクセン州、人口16万4000人）は、地元の大学及び民間企業と手を組み、アップルOS及びアンドロイドのソフトを利用している携帯用機器で利用可能なアプリケーションを開発した。市民や市を訪れる人々に様々な情報を提供することが目的である。市の地図や天気情報以外に、市の行政サービスについて待ち時間などを表示することで、市民はサービス利用について賢い選択ができるようになる。

このアプリは、6項目に分かれており、市民局での待ち時間情報、市のニュース、市の地図、天気情報、2つのウェブカメラからの映像、そしてコメント機能にそれぞれアクセスできる。最も重要なのは、住民登録やパスポートの申請及び受け取りなどのサービスが行われる市民局での待ち時間情報である。これから何時間何分の待ち時間かが分かれば、時間をうまく利用し、たとえば別の用事を済ませてから再び市民局に出向くことが可能となり、無駄な待ち時間が少なくなる。また、一週間で曜日別の待ち時間情報も比較できるため、どの曜日に待ち時間が最も短いかを確認できる。

市はまた、地元の観光スポットや役に立つ情報について知らせ、天気情報にもアクセスできる。ウェブカメラのアイコンを選べば、二つの場所の映像が見える。市の広報局が定期的にニュースを更新する。そして、ユーザーがコメントを送る機能もついていて、市当局は市民や訪問者からのフィードバックを利用する。

今は、このような基本的なサービスから始まっているが、将来は、アプリを通じてアクセスできる情報をさらに充実する予定が既にある。たとえば、市の野外及び室内駐車場の場所やその空き具合についての情報提供、ごみ収集の日程、学校閉鎖の情報、家族のための情報などがすべて開発中であり、アプリがカバーされるものが拡大する見込みである。

市当局、大学及び企業の間におけるこの協力は、市の住民や訪問者の役に立つ、便利な道具の開発につながった。既存のデータを利用しているため、市にとってはそれほどな負

担となっていないにもかかわらず、データを公開することにより、透明で市民に開かれた行政が推進できている。

ドイツ市町村連合は、オスナブリュック市のこの事業を歓迎し、他の都市においてもこのモデルが利用されることを期待している。

参照

Deutscher Städte- und Gemeindebund im Internet, Verwaltung 2.0: Mit der Osnabrück-App die Wartezeiten im Stadthaus auf dem Smartphone, 30.8.2012

[http://www.dstgb.de/dstgb/Kommunalreport/Verwaltung%202.0%20-%20Mit%20der%20Osnabr%C3%BCck-](http://www.dstgb.de/dstgb/Kommunalreport/Verwaltung%202.0%20-%20Mit%20der%20Osnabr%C3%BCck-App%20die%20Wartezeiten%20im%20Stadthaus%20auf%20dem%20Smartphone/)

[App%20die%20Wartezeiten%20im%20Stadthaus%20auf%20dem%20Smartphone/](http://www.dstgb.de/dstgb/Kommunalreport/Verwaltung%202.0%20-%20Mit%20der%20Osnabr%C3%BCck-App%20die%20Wartezeiten%20im%20Stadthaus%20auf%20dem%20Smartphone/)

Osnabrück Webseite, Pressemitteilung, Osnabrück-App für Smartphones verkürzt Wartezeiten im Bürgeramt

<http://www.osnabrueck.de/75089.asp>